

受講者の特性に対応した
教育訓練手法の構築・普及促進事業

沖縄の観光に資する
美容系人材育成プログラム

学校法人 KBC 学園

専修学校ビューティーモードカレッジ

令和 7 年 3 月 27 日

内容

第1章	背景と目的	2
1-1	課題など	2
1-2	既存の訓練との違い・新規性	2
第2章	取組内容と結果	4
2-1	募集	4
2-1-1	募集方法	4
2-1-2	募集結果（第2回試行事業）	5
2-1-3		5
2-1-4	選考方法	7
2-1-5	選考結果	7
2-1-6	工夫点	7
2-2	訓練	8
2-2-1	訓練方法	8
2-3	就職支援	14
2-3-1	支援方法	14
2-3-2	支援結果	15
2-3-3	工夫点	17
第3章	受講生の声	18
3-1	受講生へのアンケート	18
3-1-1	アンケートの目的	18
3-1-2	アンケートの方法・内容	18
3-1-3	アンケートの結果	18
3-1-4	結果に関する評価	21
第4章	訓練実施に係る費用	22
4-1	募集 22	
4-2	訓練 22	
4-3	就職支援	23
●	就職支援関する経費は、担当者の人件費のみで他は、無し	23
4-4	経費全体支出状況（R7年1月末現在）	23
第5章	試行の総評	23
5-1	目標達成状況	23
5-2	試行結果から見る今後の課題と改善策	24
第6章	普及策の検討	24
6-1	eラーニングを活用した受講訓練について	24

第1章 背景と目的

1-1 課題など

1. 訓練の背景にある課題

2020年以降の新型コロナウイルス感染症の影響により沖縄県観光業の人材が離職、事業所の倒産、他業種への流失があり、観光客へのエステサービスを運営するホテル、大型商業施設等で運営するエステサロンの人材が2023年度以降のコロナ禍明け以降、慢性的に不足している

また、沖縄県で若年出産、離婚率、非正規雇用の労働条件で就業する割合も他県より多く、若年齢層で低所得のシングルマザーの多くが育児により職業訓練を受ける時間的、金銭的余裕が無く離転職を繰り返す者も多い

2. 対象者、受講要件

育児、出産により離職しておりエステ業（美容系）に就職、転職を希望している年齢20代～40代の女性

3. 受講後の仕上がり像（目標）

- ① 沖縄県の文化や風土を理解したコミュニケーションができる
- ② エステティシャンとして基本的な理論、知識を理解しボディエステの施術ができる（日本エステティック協会認定ボディエステティシャン資格取得）
- ③ お客様に安心感と満足感を与える丁寧な接客ができる
- ④ お客様の話を聞き、共感する姿勢を身につけている
- ⑤ 施術内容や効果を分かりやすく説明できる

1-2 既存の訓練との違い・新規性

① これまでのエステティシャン養成訓練とその課題

エステティシャンを養成する大半の教育機関は、理論学習、実技学習、資格検定試験対策の全てを教育機関内での対面学習を行っている

その為、フェイシャル、ボディ、脱毛、リラクゼーションと目的、用途に応じた施術の種類があり全てを網羅した学習は、受講生に時間的、金銭的な負担が大きい

② これまでのエステティシャン養成訓練の課題に対する改善策として

- エステサロンへの「採用時に望むスキル」についての回答より施術に必要な技術面の高さより「衛生、身体部位の理解、接客スキル」等の基本的なエステ理論の修得が挙げられていた為、最も施術の多い「ボディエステ」の学習を主に理論と施術を学ぶ訓練プログラムを構築した

- 受講者が子育てや仕事と両立しながら学習でき、通学に係る時間的な負担軽減を目的とし全授業時間数の 54% のエステ理論学習を e ラーニングで行う
- 受講生本位で学ぶ事を優先とするが特に履修のバラつきが予想されたエステ理論学習におけると身体、骨格、施術動作の専門用語の解説を通学時の実技実習終了後に行い、各科目の進捗を個人ごとに管理、支援する方式を取った
- また、エステティシャン養成する専門学校の強みである企業連携を生かし 20 代～40 代と幅広い年齢層に対して就職希望条件（給与・待遇・正規、非正規、勤務地）の受講生の希望に応じた求人の開拓を行った。

第2章 取組内容と結果

2-1 募集

2-1-1 募集方法

1. 第1回募集未達の課題（受講目標人数10名に対して7名）

- ① 年末年始休暇等あり告知期間が不十分であった（R5年11月～12月中旬）
- ② 第1回目プログラムが未完成により資格取得を希望する層を獲得出来なかった
- ③ 子育てをしながら受講希望する層に託児サービスの訴求が不十分であった
- ④ ターゲットなる就職希望者の情報を持つ女性就労センター、母子寡婦センター等の営業活動が不足

2. 募集手段

① SNS 広告

- 自校の SNS アカウントを使用し 2024 年 7 月 19 日～9 月 3 日間にてインスタグラム、LINE を活用し対象者をホームページ（2024 年 7 月 9 日 UP）に誘導
- 広告費用は、前回に事前説明会の応募に繋がったインスタグラム広告に 40 万円、LINE 広告に 10 万円、計 50 万円を使用した。

② 新聞広告

琉球新報：2024 年 8 月 5 日、レキオ：2024 年 8 月 22 日より 2 回エステ講座受講生募集の情報発信

9月5(木)・6(金)説明会開催

エステの技術を無料で学び
正社員就職へ!!

資格取得できるチャンス!!

厚生労働省委託事業
エステインシャン養成講座
定員になりしだい締切!

申込締切 9/17(火)

2024 締切 10/3(木)～12/7(土)

受講料 無料
託児あり

子育てにより離職中または非正規労働者で女性の方対象

ひとり親のみならず
正社員就職のチャンス
資格を取得できる
チャンス!

お問い合わせ・お申し込み
0120-764-260
https://www.kbcgroup.jp/mhlw/bmode23
メール: b@mode-estyle.jp

SNS バナー広告

新聞広告

③ 訪問営業

- 7月8日(月)～8月13日(火)間に沖縄県内中南部地区にある母子寡婦センター、女性就労支援センター、公民館、17施設へ告知訪問、チラシ掲示依頼を行う
- 地区別訪問箇所は、那覇市：10か所、浦添市：1か所、西原町：1か所、豊見城市：1か所、与那原町：1か所、沖縄市：1か所、北谷町：2か所

④ 受講希望者への説明会を校舎内で6回実施

- 対面形式3回開催
8月22日(木)、9月5日(木)、9月6日(金) 14:00～15:00
- オンライン形式3回開催
8月23日(金)、9月5日(木)、9月6日(金) 18:00～19:00
- 対面形式説明会予約者：30名(実参加者19名)、オンライン形式説明会予約者：32名(実参加者22名)、両形式予約者：62名(実参加者41名)
- 子育て、仕事の都合によりオンライン形式の参加者が半数以上を占めた

3. 訴求内容

1. 第1回訓練生の聞取りで関心の高い、以下の内容を広報活動で強く訴求した

- 資格取得訴求：「認定ボディエステティシャン」資格
- 学習方法支援訴求：「ノートPC、モバイルWi-Fi貸出」
- eラーニング受講支援
- 就職支援訴求：「求人紹介・企業マッチング、インターシップ企業紹介」
- 託児サービス訴求：「校舎内に保育サポーター派遣」

4. 募集期間

1. 令和6年7月～9月の3か月(開講3か月前より)

2-1-2 募集結果(第2回試行事業)

1. 第2回試行事業の募集数値目標について説明会参加が目標比91%と未達成であったが受講エントリー目標30名に対して33名と目標達成した。

【説明会目標、実績、目標達成状況】

No	項目	第1回実績	第2回目標	第2回実績	目標比
1	説明会申込数	26名	50名	62名	124%
2	説明会参加数	19名	45名	41名	91%
3	受講エントリー数	7名	30名	33名	110%

- ⑤ 広告効果としてホームページのアクセス数は、6,787件、その内、事前説明会申込数は、68件となった。

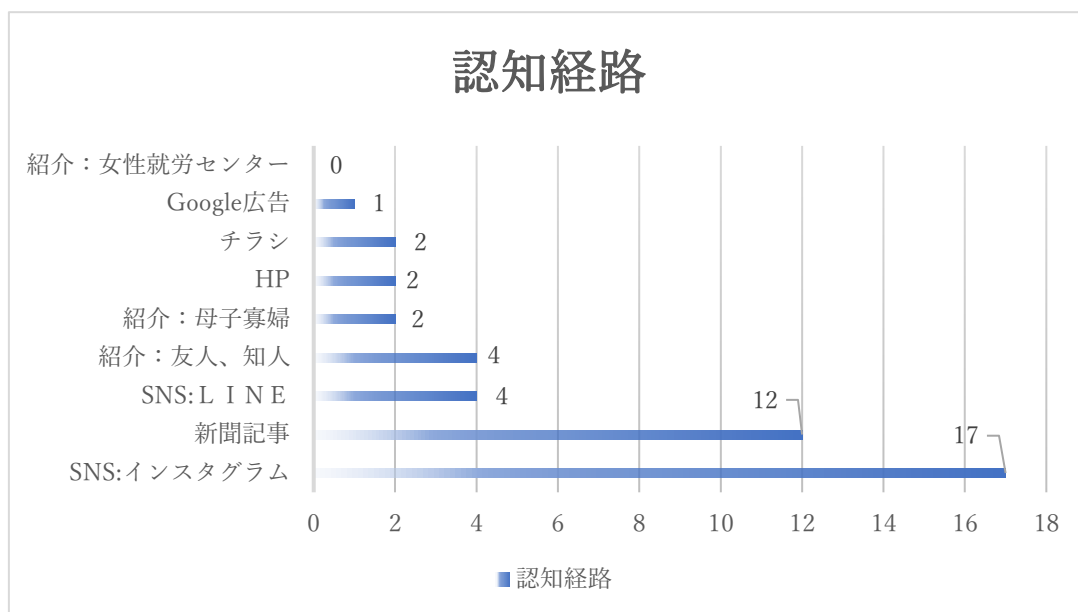
- ⑥ 前回と同様に 20 代～40 代の女性受講生を集客する上でInstagram広告は、有効なツールとなった。
- ⑦ また、琉球新報誌面に掲載された受講生募集記事の反響が高く、その後 Yahoo ニュースのネット記事に掲載され SNS 広告に次ぐ事前説明会の応募に繋がった

2. 受講者の応募状況について

- 当初、本講座内容を事前説明会参加より確認の上、受講申込に至ると思われたが、チラシ、HP 情報を確認した受講生が全体の 3 割程度いた
- 受講開始後の辞退を防止し、本講座の対象となる「エステティシャンに就業を希望する 20 代～40 代の女性」の条件を満たす層を獲得する為、必ず、選考試験前に事前説明会に参加を促した
- SNS 広告での受講者獲得も有効であったが、各地区にある母子寡婦センター、女性就労支援センターからの会員、相談者への情報発信（登録者への LINE をかつようした）も有効であった。
- 講座開始前に本講座の e ラーニング、通常と違い受講時間が短い点、託児有、エステ業界の待遇、多様な働き方が選択できる点等を説明し好印象であった事が要因かと思われる。

3. 本講座を知ったキッカケ_認知経路（36 名回答/41 名説明会）

回答件数が最も多いのは、Instagram 広告 17 件、次いで新聞記事の 12 件
新聞記事については、琉球新報掲載の記事とその内容を取り上げた Yahoo ニュースより反響があり掲載後、事前説明会申込件数が増加した



* Google フォームアンケートで集計、回答については、複数回答可

2-1-3 選考方法

1. ホームページよりエントリーフォームにて応募
 - ① 氏名・生年月日・住所・連絡先・学歴・職歴・志望動機等の応募条件の確認を行う
 - ② 対象条件に合わない方、資格取得目的で就職希望が無い方は、除外とした
2. 面接日程：8月29日・9月12日・9月19日計(3日程)
 - ① エントリーフォームより希望日時を選択させ、事務局で確定日時を連絡
 - ② 各日程共に校舎内で実施、面接官2名1組で対応
3. 選考時の質問
 - ① エントリーフォーム内容の確認、受講要件の確認、志望動機、職歴、就職希望の内容を確認、特に就職先に求める条件、就職時期、具体的なサロン名、ホテル、商業施設内での希望等を聞取り
 - ② また、既婚者かお子育さんをお持ちか(人数、年齢)を聞取り
4. 選考～合否発表
 - ① 選考日毎に9月3日、9月17日、9月25日に通知
 - ② 事務局よりエントリー申込者のメールへ結果通知

2-1-4 選考結果

1. 選考～受講採用：33名(不合格者無し)
2. 受講辞退：受講採用後に1名の辞退_家庭の事情により
3. 開講時受講者人数：32名
4. 前期と違い、受講希望者に事前説明会参加を促しており応募資格を満たしていない、また就職希望の無い受講者希望者は、エントリーせず対象条件を満たす応募者が面接に臨んだ

2-1-5 工夫点

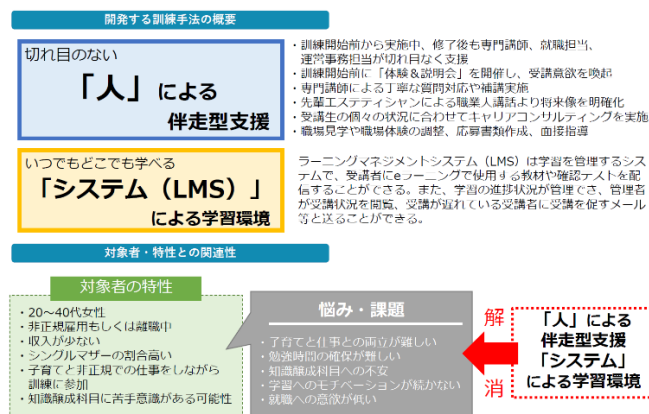
1. 前期募集結果を踏まえ、講座希望者獲得に反応が良い SNS 広告の予算増加、かつ2か月半の長期間で広告出稿し見込み者を獲得
2. 加えて告知訪問を母子寡婦会、女性就労支援センター、公民館等の17か所にチラシ配布、掲示を依頼し口コミよりホームページに誘導が図れた

2 - 2 訓練

2 - 2 - 1 訓練方法

1. 訓練概要

- ① 訓練開始前より受講中、終了後もエステ実務講師より質問応対、補習を行い、就職担当より受講生の個人ごとに合わせたキャリアコンサルティング、職場見学、応募書類作成、面接指導、運営事務担当も含め切れ目なく人による伴走型支援を行う



② 修了要件

受講生には、実習授業の出席率 90%以上、e ラーニング科目の履修 90%以上を目標とした

③ 学習環境

LMS システムを活用しエステ理論科目（68 時間）を各单元ごと e ラーニングで学習、講義動画を視聴し单元ごとの確認テストに回答、基準合格点に達すると履修完了となる方式（以下は、LMS 画面）



④ 実技講習

エステ実技授業(ボディエステ、フェイシャル)は、10月3日～12月4日間に実施、その期間中、木曜日・金曜日・土曜日に週ごとに8時間の授業を実施

⑤ eラーニング学習サポート

- eラーニング学習に不安のある受講生に LMS 管理画面より受講者個々の進捗状況を確認し学習の遅れがある受講生に対して実技授業終了後に補習を実施、また、適宜、講義動画、確認テストの不明な点、受講者から確認、質問に対しては、専用メールより回答を行う
- ボディ、フェイシャルエステ実習授業の受講に当たり、LMS 内にある実習授業内容の動画を事前に視聴する事を義務付けし受講者がより短期間での履修できるよう促す、また、希望者には、エステ理論学習と同様に実習授業終了後にエステ施術に関する補習を1～2時間程度実施

⑥ 資格取得について

日本エステティック協会 ボディエステティシャン資格実技試験を実習試験とし筆記試験については、任意受験とした。

2. 訓練カリキュラム：125時間

NO	学習科目	時間数	受講形式	学習内容
1	エステティック基礎	8	eラーニング	・エステティック基礎知識、関係法規
2	身体の仕組みと働き	32	eラーニング	・ホメオスタシスの働き、解剖生理学、皮膚科学
3	エステティックカウンセリング	3	eラーニング	・顧客のニーズを引き出すカウンセリング方法
4	化粧品学	6	eラーニング	・化粧品の種類と働き
5	栄養学	3	eラーニング	・栄養の知識
6	衛生管理	6	eラーニング	・エステティックにおける衛生管理、消毒手法
7	エステティック実習	50	対面	・マッサージ実習(ボディ、フェイシャル)
8	接客マナー・語学	10	対面	・エステサロンでの接遇マナー ・外国人観光客へのおもてなし
9	職業人講話	2	対面	・実際のエステティシャンの講話拝聴
10	就職支援	5	対面	・企業研究、校内企業説明会 ・履歴書作成、模擬面接

訓練カリキュラム、eラーニング実技動画は、日本エステティック協会発行「AJESTHE 認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン 理論と技術」「新エステティック学 技術編 I」より参照し作成



3. 実施体制

- ① 訓練講座開発に当たりの13名検討委員会を運営、関連する外部有識者委員7名、学内委員6名で構成
- ② 運営事務局（募集、事務受付）担当：仲宗根、山越 計2名
- ③ 専門教員（エステ）担当：崎浜、他非常勤講師2名 計3名
- ④ 教材開発担当：崎浜、渡久地、國仲、恩河 計4名
- ⑤ 就職指導、企業開拓担当：恩河、國仲 計2名
- ⑥ 職業人（経営者、先輩エステティシャン）：エステに関する働き方、やりがい、魅力を講話形式で伝える（講話2回実施）

2-2-2 訓練結果

1. 出席率

受講生28名の出席率は、目標90%以上に対して99.7%の結果、前回に引き続き受講生のエステ実技取得に意識が高く、一部受講生が病欠、仕事の都合等で欠席が発生したが、別日での補講を受講し今回の結果となった。

2. 実技試験（必修）、eラーニング履修

- ① 認定エステティシャン実技試験(学内)28名受験し全員合格(53点/75点)
- ② エステ理論6科目（58時間）履修目標90%以上に対して100%履修

3. 筆記試験（任意）

令和6年12月14日受講者の任意となる認定エステティシャン筆記試験について受験者26名の内24名が合格となった（合格率92%）

4. 退講者

- ① 10月3日受講開始時、32名で開始、10月~11月にかけて4名の退講者発生
- ② 修了者目標24名に対して28名の修了となり目標比117% (28/24)
- ③ 退講理由については、以下の通り

No	退講理由
1	仕事と学習の両立が厳しく受講を断念
2	妊娠により受講が継続困難
3	子育てとの両立が厳しく、学習時間を確保出来ない
4	学習を進めるうえでエステティシャンへの興味関心が低下

2-2-3 工夫点

1. eラーニング学習

- ① 入講オリエンテーション時に学習ができるようLMSへのログイン方法をマニュアルより説明、1科目のみ確認テストまで受講させた
- ② また、受講者の希望によりPC機器、Wi-Fi機器をオリエンテーション時に機器の設定、Wi-Fi機器への接続も合わせて実施した
- ③ 第1回試行時、実習授業と比べ理論系学習を受講生の裁量に任せると履修が課題であった為、各科目の受講期間を設定、LMSで受講者個々の履修進捗を確認、遅れがある受講生には、メール連絡、実習授業終了後に補習を行う

① eラーニング受講期間_58時間

NO	科目名	時間数	受講期間
1	ホメオスタシスとストレス	2	10月3日~10月4日
2	エステティックとは	2	10月5日~10月6日
3	エステティックの基礎知識	6	10月7日~10月10日
4	身体の仕組みと働きⅠ	9	10月11日~10月19日
5	身体の仕組みと働きⅡ	9	10月20日~10月28日
6	皮膚の仕組みと働きⅠ	6	10月29日~11月3日
7	皮膚の仕組みと働きⅡ	6	11月4日~11月9日
8	エステティックカウンセリング	3	11月10日~11月12日
9	化粧品の種類と働き	3	11月13日~11月17日
10	栄養の知識	6	11月18日~11月20日
11	エステティックにおける衛生と消毒	6	11月21日~11月23日

2. 実習授業

- ① 受講開始前に 10 月 3 日～12 月 7 日間の授業予定日、時間帯を受講生に提示、
託児の希望者には、学校内に託児スペースを設置し外部団体より保育サポーターを派遣した。
- ② 30 名を超える受講者指導の為、専任教員以外の非常勤講師 2 名、計 3 名で指導
- ③ 対面授業科目スケジュール

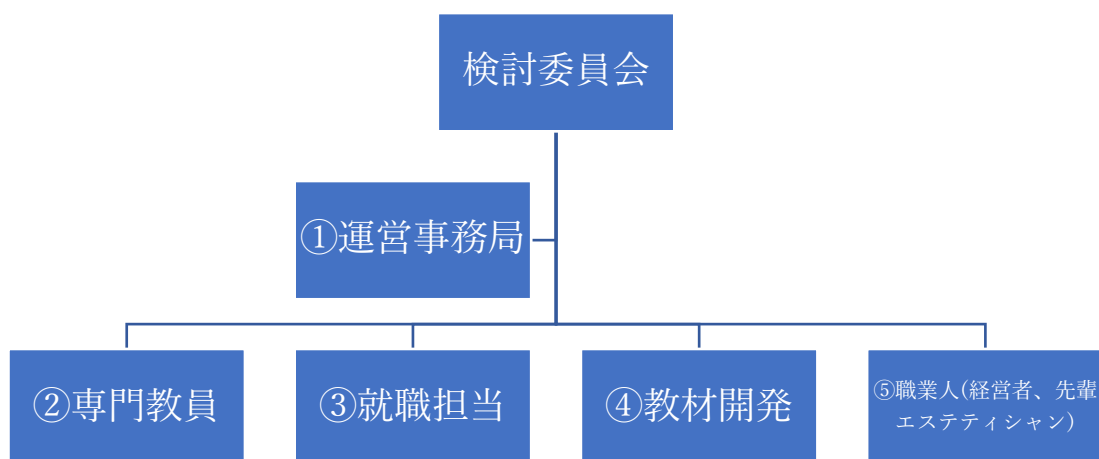
月	日	曜日	時間帯	時間数	実習内容
10	3	木	10:00～12:00		オリエンテーション
	4	金	10:00～12:00	2	準備の仕方、ポジショニング
	11	金	10:00～12:00	2	マッサージ 足背面 1
	18	金	10:00～12:00	2	マッサージ 足背面 2
	25	金	10:00～12:00	2	マッサージ 足背面 3
11	1	金	10:00～12:00	2	マッサージ 足背面 4
	7	金	10:00～12:00	2	マッサージ 背面足復習、足前面①
	8	金	10:00～12:00	2	マッサージ 背面足復習足、前面②
	9	土	10:00～15:00	4	マッサージ 背面足復習足、前面②
	14	木	10:00～12:00	2	マッサージ 背中 1
	15	金	10:00～12:00	2	マッサージ 背中 2
11	16	土	10:00～15:00	4	マッサージ 背中 3
	21	木	10:00～12:00	2	マッサージ 腕 1
	22	金	10:00～12:00	2	マッサージ 腕 2
	23	土	10:00～15:00	4	マッサージ 腕 3
	28	木	10:00～12:00	2	マッサージ 通し練習 1
	29	金	10:00～12:00	2	マッサージ 通し練習 2
	30	土	10:00～12:00	2	ボディ実技試験
12	5	木	10:00～13:00	2	フェイシャルクレンジング 1
	6	金	10:00～13:00	3	フェイシャルクレンジング 2
	7	土	10:00～15:00	4	フェイシャルクレンジング 3

④ 受講訓練風景写真3点



3. 実施体制

① 検討委員会組織図：委員数 13 名（内外部委員 7 名）



② 検討委員会からの意見、質問、活用した内容

- ① 沖縄県の課題となっているシングルマザーへの支援を行う職業訓練であること事を新聞、TV等のマスメディアに告知し受講生募集を行うと効果的であると思われる
- ② eラーニング受講について履修が進まない受講生に対する支援方法の確認を細やかにする必要あり
- ③ 短期間での履修と就職支援方法の個別指導の確認が重要

2 - 3 就職支援

2 - 3 - 1 支援方法

1. 就職支援体制

- ① 実習教科担当 1 名、就職担当職員 1 名の計 2 名より「待遇、働き方、必要な知識、技術などエステ業界、企業等の情報」を求人票で提供
- ② 受講開始後、受講者個々の就職希望条件（勤務地、給与、雇用形態）をアンケート及び聞き取りを実施
- ③ 開講後 1 か月後の 11 月の 6 日程に企業研究、自己分析、求人票の見方、模擬面接、就職相談等を 7 時間実施
- ④ また、20 代～40 代の年齢、正規・非正規（週 20 時間以上）等の応募者に向けて柔軟な採用活動を行うエステサロン企業人事担当より校内説明会を実施しエステサロンの特性、雇用ニーズ等の情報を直接、把握できる機会を設ける
- ⑤ また、上記 4 社以外の求人及び受講生の現住所よりの通勤時間の条件も要望があった為、専門学校への求人提供企業を中心に受講生に該当する求人の開拓及び検討委員会の外部関連企業団体より情報を収集し求人の開拓を行う、コロナ禍明けの沖縄県内のエステサロンで新規採用に苦慮している状況より年齢も含め多様な就職希望条件に柔軟に対応するサロンがあり就職希望の受講生に向けた求人情報の提供を適宜、行う

2. 就職支援カリキュラム__7 時間

月	日	曜日	時間	時間数	実施内容
11	8	金	10:00~12:00	2	企業研究、企業説明会
	14	木	12:00~13:00	1	自己分析、求人票の見方
	15	金	12:00~13:00	1	就職相談会
	21	木	12:00~13:00	1	就職相談会
	22	金	12:00~13:00	1	履歴書作成
	28	木	12:00~13:00	1	面接指導

➤ 10 月 3 日～12 月 7 日間の実習、e ラーニング終了後、2 月末まで就職支援を行う

*11月8日、校内説明会の模様

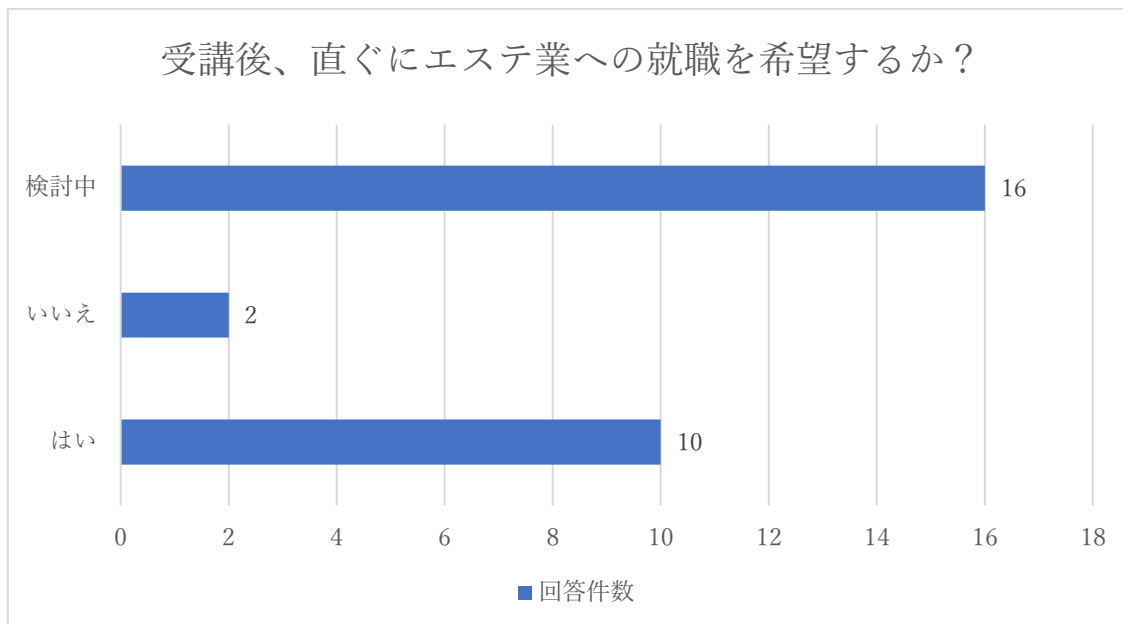


2-3-2 支援結果

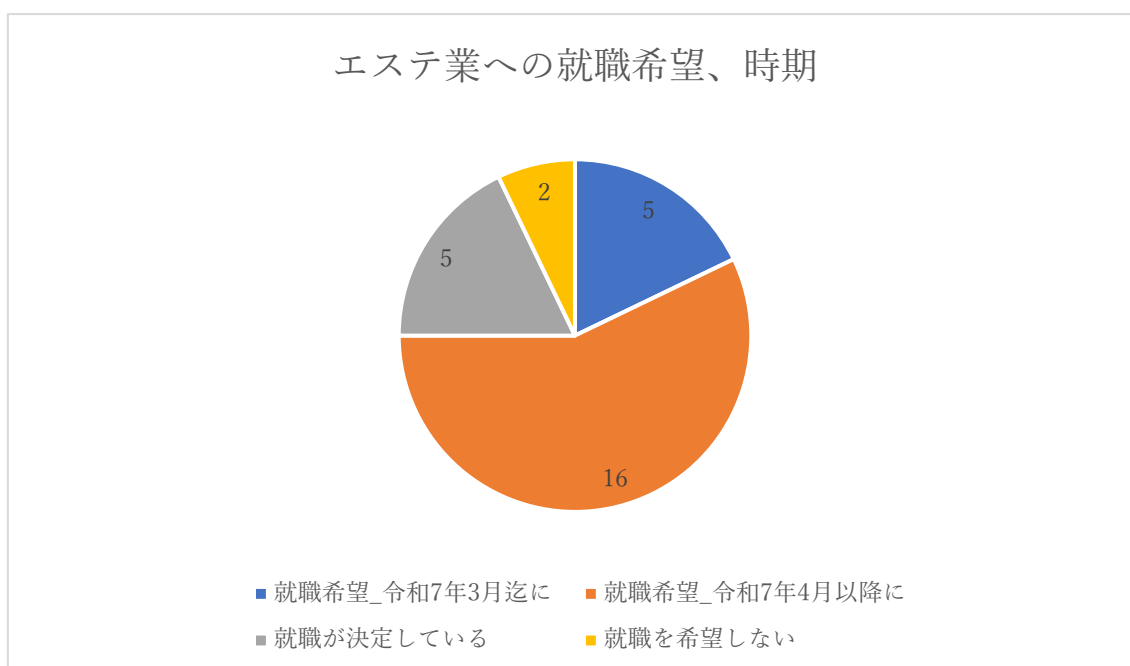
1. 受講生の就職希望状況について

- ① 1月修了式のアンケート回答より28名中26名が受講後、直ぐに就職を希望、もしくは検討の上、就職活動を行うとの回答、就職を希望しないが2名の回答となった。(アンケート結果①)
- ② 同じくアンケート回答より5名が就職内定、正規雇用：1名、契約社員(週20H時間以上)：1名、業務請負：3名と分かれる
- ③ 業務委託とは、企業、エステサロン側に雇用されるので無く対等に契約を結び仕事を請けおう働き方を言い、自分の都合で働け、完全歩合制での収入となる
- ④ 就職希望時期について令和7年3月末迄に就職を希望する者は、5名の回答と低い傾向(アンケート結果②)
- ⑤ 直ぐにエステ業の職に就く事が出来ない理由として現在、乳児～小学生の子育てを行っており正規雇用としての長時間勤務が物理的にできないとの回答が多くあり、「給与、待遇」以外の「勤務時間帯が選択できる、通勤距離」の条件を重視する傾向があり、じっくり希望条件を吟味して就職を希望するが16名と最も多い結果

就職に関する受講者アンケート結果①



就職に関する受講者アンケート結果②



2-3-3 工夫点

1. 就職希望先、勤務条件の確認

- ① 選考面接時より受講者の就職意志、勤務条件、希望する就職先等の要望を確認する
- ② また、校内企業説明会后、11月15、21日に個別面接を実施し選考面接時の希望に変更が無いか、就職先の選定、今後の就職活動の助言を行う
- ③ 就職担当とエステ教科担当にて条件に見合う求人情報の提供と開拓を実施

2. 働き方と企業研究について

- ① 受講生の多くが0才から10才までのお子様を抱え、子育てをしながら働く事ができる条件でエステサロン、企業を就職先を希望する事が多く、また、雇用関係に縛られず、日々の働く時間をコントロールできる業務請負契約で働く事が出来るエステサロン、企業を希望するも多数いた。
- ② 業務請負契約で働く事のメリット、デメリット（福利厚生が無い、収入の不安定さ）を説明し雇用契約との違いを説明した。

第3章 受講生の声

3-1 受講生へのアンケート

3-1-1 アンケートの目的

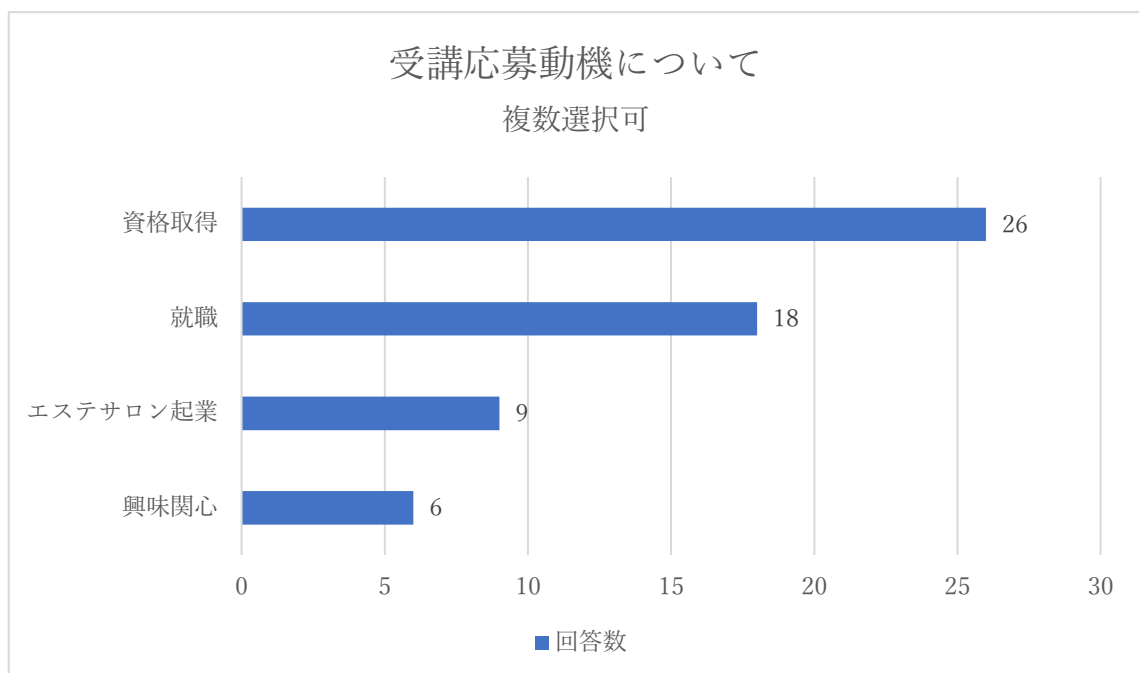
1. 受講応募動機
2. eラーニング学習について
3. 訓練全体の満足度について

3-1-2 アンケートの方法・内容

1. 12月試験修了時と1月修了式後に実施
2. アンケート回答は、Google フォームを使用し回答を集計

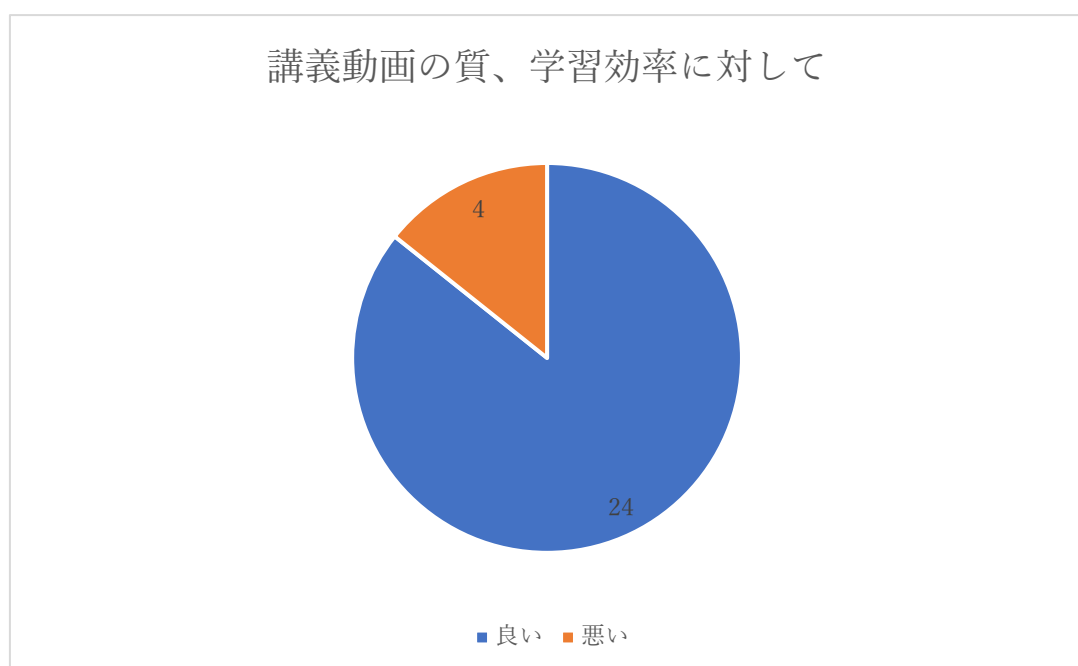
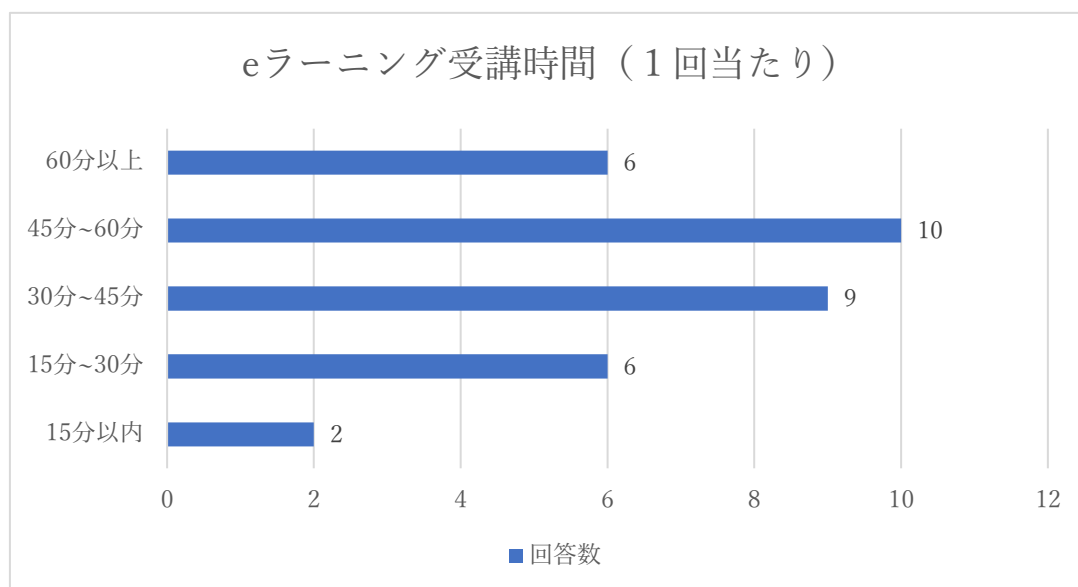
3-1-3 アンケートの結果

1. 受講者の訓練応募動機（複数回答可）
 - 28名の修了者への受講となった理由については、「エステティシャンとしての資格取得」との回答が最も多く、2番目に「エステ業、美容分野への就職」、3番目にこの業種に特徴的な「エステサロン起業」最後に「エステに興味関心があり技術を身に付けたい」の回答となった。



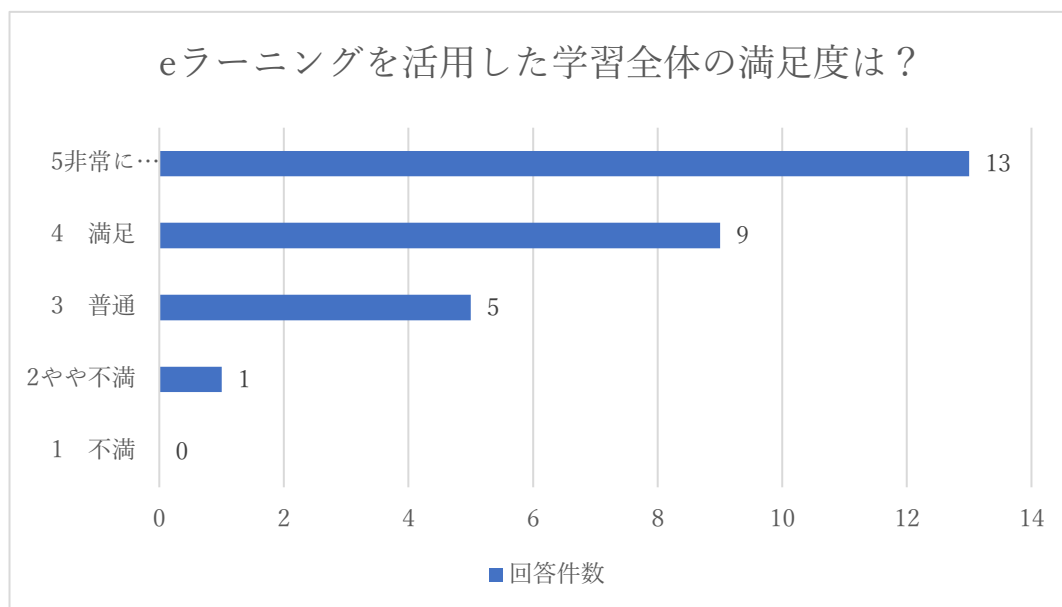
2. eラーニング学習について

受講者の学習時間については、自宅での学習時間の確保と一単元を2回～3回以上実施する事を指導、修了者28名中1回当たりの学習を30分以上実施した者が約9割と回答が最も多かった



訓練全体の満足度について

e ラーニングを活用した訓練講座の学びに全体に対して肯定的評価を 5 段階中「5・4」回答と設定し修了者 80%以上の回答を肯定的評価目標とした、28 名中 22 名が肯定的評価回答 78.6%の結果



受講生より訓練全体、e ラーニング、運営等の感想は、全体的に好評価であったが運営スケジュール、講義動画、確認テストの誤表示、説明音声のズレの指摘があり（以下、受講生よりの感想、意見一部抜粋）

肯定的意見、感想		改善、指摘事項、感想	
1	家事をしながらでも学習できたので動画は便利でした。	1	専門用語などが難しかったです
2	重要なところがまとめられていて、要点を把握しやすかった。	2	教科書を見ながら動画を見ると頭に入ってきたけど、教科書がまだ届いてない時期は頭に入ってくる感覚が少なかった
3	最初は動画の通りマッサージできるか不安でしたが、授業が進んでいくと動画を見ながらすぐ確認ができすごくわかりやすかったです。	3	講義動画の一部分の後半で画面と講義内容の説明にズレが生じていました。

3-1-4 結果に関する評価

1. 応募動機について

- ① 「受講者の家庭生活、仕事の環境等、各々の状況に応じて学習できる事」と「エステティシャンとしての基礎的な技術、知識が履修できる事(資格取得)」が主な応募理由となった、時間的な制約を軽減でき、個々の学習時間、履修スピードに合わせた学びに対しての期待、評価が高い結果となった
- ② また、受講後に就職で無く、直ぐにエステサロンの起業を検討する層がいる事は、この分野の特徴かと思われる

2. eラーニング学習について

- ① eラーニングの受講経験が無く、また、IT機器の操作経験がほぼ無い受講生が大半であったがeラーニング内の講義動画、プレ動画、確認テストのついての満足度は、28名中24名と全体しめる肯定的評価は、86%の結果となった
- ② 1回当たりのeラーニング受講時間については、45分~60分前後を受講生は、各単元別の履修スピードが速く、30分未満の受講生は、履修スピードが遅い状況であった

3. 訓練全体の満足度について

- ① 実習、eラーニング、就職支援、訓練運営について肯定的評価目標80%以上に届かなかったが78.6% (22/28) 回答結果となった
- ② eラーニング講義動画の解説のズレ、エステ理論の専門用語の難解さが否定的な評価の主な要因

第4章 訓練実施に係る費用

4-1 募集

1. 募集経費（税抜）

第1回訓練講座受講生7名より第2回訓練講座の募集目標30名と4倍以上の受講生獲得が必要となった為、当初予定のチラシ配布以外に SNS 広告、新聞広告を追加、使用実績が1,030,600円となった。

経費項目	内 訳	使用実績
広告運用費	チラシ製作費	200,000 円
	SNS 広告費	570,450 円
	新聞広告	260,150 円
合 計		1,030,600 円

4-2 訓練

- ① 会場費の項目は、当初、訓練期間の一部を外部会場で実施する予定であったが授業のスケジュール調整を行い全ての訓練講座を学校内で実施した為、予定の会場予算を使用せず
- ② 消耗品、その他の項目について最も差額のある受講生用PC(レンタル)費用については、受講生の約半数が自身のPC機器を使用する受講者が多数おり PC 予算経費は、未消化

経費項目	内 訳	実 績
教材開発	訓練実施分 (座学 e ラーニング 用)	5,236,814 円
	Web サイト更新 (e ラーニング・受講生募集)	220,450 円
会 場 費		0 円
消耗品 その他	受講生用 PC(レンタル)	284,110 円
	テキスト印刷代	0 円
	参考図書購入代	0 円
	研究員調査分析交通費	0 円
	事務用品	0 円
合 計		5,741,374 円

4-3 就職支援

就職支援関する経費は、担当者の人件費のみで他は、無し

4-4 経費全体支出状況（R7 年 1 月 14 日現在）

1. R7 年度事業経費の執行は、1 月末時点で予算比 89,3%の執行状況
2. 人件費、事業費は、2 月、3 月経費発生予定があり、当初予定予算執行の見込

No	経費項目	実 績
1	人件費	8,468,858 円
2	事業費	7,052,298 円
3	管理費	1,552,116 円
4	消費税	1,707,327 円
合 計		18,780,599 円

第 5 章 試行の総評

5 - 1 目標達成状況

1. 試行訓練の目標設定の達成状況（令和 7 年 1 月末現在）より【受講者数・受講者出席率・修了者数】の目標達成、【受講者訓練評価・就職率】は、目標未達成の結果となった。
2. 就職率については、修了者 28 名中 10 名が令和 7 年 3 月まで就職希望、他、16 名が令和 7 年 4 月以降の就職希望、2 名が現時点で就職を希望しないアンケート回答、既に就職が決定している 5 名中 3 名が業務請負契約での雇用となる為、今回の就職実績に含まれない

No	項目	目標	実績	目標比	備考
1	受講者数	30 名	32 名	106,7%	
2	受講者出席率	90%以上	99,7%	110.8%	実習、就職実務授業の出席
3	修了者数	24 名	28 名	116,7%	
4	受講者訓練評価	23 名	22 名	95,7%	修了者の肯定的評価 80%以上
5	就職率	26 名	2 名	7.7%	修了者の 90%以上の目標 週 20 時間以上の契約社員含む

5 - 2 試行結果から見る今後の課題と改善策

1. 就職指導について

① 課題

- 受講生の多くが職に就いている者が多く、受講後、直ぐに就職を希望しない者が5割以上となった。
- また、エステ業の職に就く希望があるが就職条件に勤務時間を最優先とする子育て中の受講生が多く正規雇用以外のパートタイム、業務請負の求人を求める者が多くいた

② 改善策

受講応募の際に HP、チラシ受講後に即、正規雇用、週 20 時間以上の雇用を希望する者を入講条件とする事を明記、事前説明会、選考面接時に受講応募者の就職意欲、時期、就職希望（正規・非正規）等の応募条件の確認を行い、応募条件に沿う者を採用する

2. 訓練期間について

① 課題

一部受講生より実習時間が少ない為、自身の実技取得に自信が持てないとの意見があった。

② 改善策

受講生に成長実感を抱かせるよう週別の実習授業内容の振り返りと受講者相互に確認しあえる実習授業を追加する

第 6 章 普及策の検討

6 - 1 e ラーニングを活用した受講訓練について

1. 美容系専門学校、エステスクールでの展開

沖縄県内のエステティ션을養成する学科、コースを持つ専門学校並びに短期スクールに本講座の e ラーニング授業の活用について営業、販売を行う

2. 就労支援施設での展開

沖縄県内の女性就労支援センター等の施設に職業訓練として展開する

3. エステ業組合での展開

沖縄県エステ業組合で各サロンの新入職員向けに e ラーニング受講の営業、販売を行う